

# 一般社団法人 熊本県臨床工学技士会 ものづくり準備委員会 15回目

第15回 ものづくり準備委員会 開催案内

日時：1月26日 金曜日 19：00～20：30 （開場：18：30）

場所：東海大学フェニックスカレッジ熊本オフィス 8号館3階 8B301号室  
（熊本市東区渡鹿9-1-1）

医療の現場を知る、熊本県臨床工学技士会プロデュース！！  
医工連携をさらに進めるための検討の場が「ものづくり準備委員会」です。

「医療や福祉の現場のニーズを知りたい」「自社の技術で、現場の困りごとを解決したい」  
このようなことをお考えの、ものづくり企業の皆様、医療、福祉関連の機器や器具、システム等のユーザ（使用者・利用者）である“臨床工学技士”と一緒に商品化を目指したニーズステイメントを作成してみませんか。

ものづくり準備委員会では、医療、福祉関連の機器や器具、システム等のユーザ（使用者・利用者）である「当会会員、医療施設、福祉施設」と、製造・開発を行なう「ものづくり企業」、臨床研究や論文を作成に協力いただける「大学」、医工連携を支援する「支援機関」等が集まり、メイドイン熊本の医療、福祉関連機器の商品化を目指した仕様書を作成します。

## 内容：透析に関するニーズを考えよう！

検討案①片手で取り外し  
可能な人工腎臓ホルダー



検討案③簡易血流量計



検討案②抜針予防グッズ

その他検討案

無線血圧計、エコー使用に関するシミュレーターなど…

【参加費】：無料

【参加者】：熊本県臨床工学技士会会員、熊本のものづくり企業、  
大学研究者、医療機器関連企業 など

【後援】：（公財）くまもと産業支援財団、くまもと医工連携推進ネットワーク、  
くまもとクロスイノベーション協議会

【申込先・問い合わせ先】： kuma.mono.2022@gmail.com

※上記のメールアドレス宛てに所属とお名前をお願いします。

## ものづくり準備委員会運営

- ・ものづくり準備委員会は月に1回は開催
- ・提出されたニーズに対して、熊臨工会員、ものづくり企業、大学、行政 各々が対等な立場で実現可能か否か、社会的必要性の有無、ビジネスモデルとして成り立つかを討議

- ・討議・協議の結果、試作品候補を決定

- ・委員会とは別にチームを編成（秘密保持契約を締結）し、試作開始
- ・試作品を熊臨工会員に配布⇒熊臨工会員が臨床評価
- ・臨床研究 ⇒ 臨床研究倫理委員会で審査
- ・論文作成 ⇒ 大学等の協力

☆現状の問題点を見つけ改良・改善・新規開発を行なう。

☆可能な限り、現場の意見を取り入れた、現場に必要とされる製品を創る。

※参加される方は、活動の状況に応じて秘密保持契約を結んで頂くこととなります。

